

二戸市議会 文教福祉常任委員会 管外視察報告

文教福祉常任委員会委員長 小田島 行伸

- 1, 期 間 令和8年1月20日から1月21日まで
- 2, 視察先 茨城県境町 栃木県那須町
- 3, 出席者 小田島 行伸 委員長 土佐野 淳 副委員長
堀 野 忠 教 委員 駒 木 昇 委員
田 川 晃 委員 田 口 一 男 委員
同行者 長 畑 宏 範 教育部副部長兼教育企画課長
- 4, 調査事項 境町に於ける子育て・教育支援の取り組みについて
相手方出席者 境町議会副議長 他職員
那須町における廃校を活用したこども高齢者の支援
について
相手方出席者 那須まちづくり株式会社役員他職員
- 5, 視察目的 二戸市と同規模の人口の町における子育て支援と
教育支援の取り組みを学ぶため。
廃校を活用したこども高齢者支援の取り組みを
学ぶため。

文教福祉常任委員会 管外視察スケジュール

令和8年1月20日（火） 14時15分から17時

子育て支援日本一を目指す町茨城県境町（英語移住しませんか？）

8時23分 二戸駅発はやぶさ10号 11時04分東京着

12時40分 東京駅八重洲南口3番乗り場

14時13分 境町高速ターミナル着 視察開始

14時15分 citywave Tokyo Sakaimachi

（ふるさと納税の体験型が利用できる施設）

PFI住宅 オハナタウン ガレージタイプ（移住定住施設）

14時35分 境町ニコニコスポーツパーク

境町アーバンスポーツパーク（交流人口増加施設）

15時00分 子育て支援センター S-WORK+KIDS

15時40分 PFI住宅 マハロタウン マハロタウン2

マンションタイプ視察

15時55分 道の駅境にて子育て支援への取り組みについて

質疑応答

17時

道の駅境発

19時6分 新白河着

令和8年1月21日（水）

9時10分 新白河よりタクシー移動

9時30分 那須まちづくり広場 着

10時00分 那須まちづくり広場 視察開始

廃校を利活用した新たなまちづくり

【那須まちづくり株式会社】が、孫子の代まで継続する

「100年コミュニティ」を創生しようと、廃校再生に着手したのは、
2017年。人生100年時代に、だれもがいつまでも、生涯活躍でき、
安心して生きることができる場所を目指して2018年にオープン。

2020年地域づくり表彰[小さな拠点部門]国土交通大臣賞、

2022年ふるさとづくり大賞団体表彰（総務大臣表彰）。

11時30分 視察終了

13時36分 新白河発 やまびこ209号

14時53分 仙台駅発 はやぶさ 23号

16時01分 二戸着

視察先1 citywave Tokyo sakaimachi

施設概要 東京大井町にあったサーフィン施設が移転する事になり受け入れ先に手を挙げた境町が誘致した施設。サーフィンの初心者から上級者までの受け入れが可能で、米国ハワイ州ホノルル市と姉妹都市である境町が街の雰囲気と調和すると考え導入したもの。

ここでサーフィンの大会が開催されるなどサーフィンを通じての交流人口の拡大にも大きな役割を果たしている施設である。

初心者から上級者までの対応が可能である。



人工型サーフィン施設 citywave Tokyo sakaimachi 施設写真

視察先2 境町文化村機能向上施設 S-depo エスデポ

境町が推進するスポーツを核とする街づくりを象徴するスポーツ交流を紹介する施設。東京オリンピック・パラリンピック2020の精神を未来へ受け継ぐ拠点としてスポーツ、教育、国際交流の3本柱を元に町民や来訪者が楽しめる施設として建設。館内の設計図や展示物も実際のオリンピックで使われたものを使用しており、床には東京オリンピックのトライアスロンの会場で、使用された人工芝を移設しており東京五輪の熱気や記憶を感じる事が出来る施設です。



視察先3 境町アーバンスポーツパーク 1st

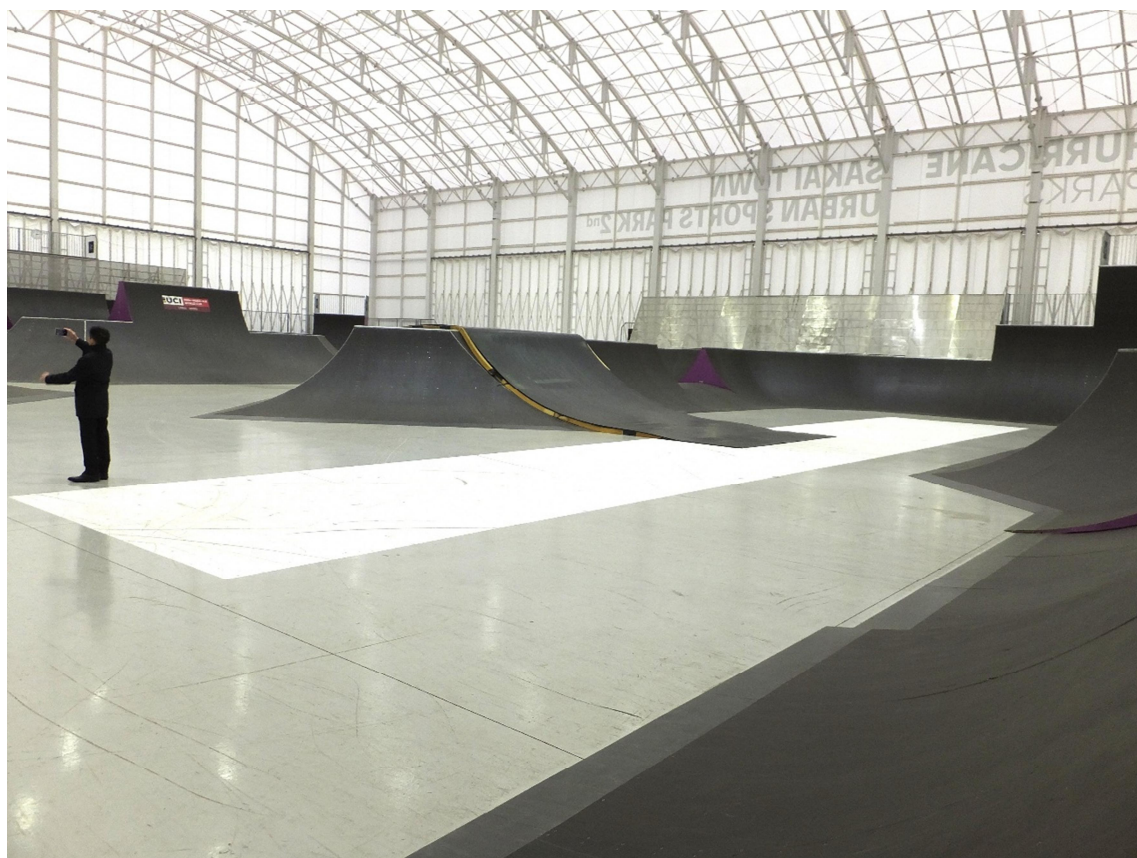
施設概要 東京五輪2020から正式な競技になったBMX フリースタイル、スケートボード等の競技に対応できる常設の会場としては日本初となる世界大会レベルの開催が可能な屋外スポーツ施設。

360度どの方向からも進入できるジャンプ台の設置も日本初。
2021年3月の開業以来、BMX フリースタイルジャパンカップ、ローラーフリースタイル(アグレッシブインラインスケート)全日本選手権、東京オリンピックのスケートボード競技で金メダルを獲得した選手も来場する等、多くの大会が開催されている。



視察先4 境町アーバンスポーツパーク 2nd

境町アーバンスポーツパーク 1st に隣接する東京オリンピック 2020 の BMX フリースタイル 競技で実際に使用された競技会場を境町に移設した屋内の常設競技場。1st の会場と同じく設計はフランスのハリケーン社が担当している。屋根と照明が設置されており、夏の暑さや台風、雪の気候でも練習が可能な全天候型施設。スポーツ移住にも力を入れる境町では、実際にこの競技に取り組む選手の移住も行われている。施設内には東京五輪 2020 レガシーを伝えるべくオリンピックのシンボルも掲示されている。





視察先5 境町子育て支援センター S-WORK+KIDS

乳幼児の親子の遊び場、コミュニティの場として子育てを応援する施設。近くにはスーパーや薬局もあり、子育てに忙しい親にとっては嬉しい立地条件。施設は全天候型で室内でのボールプールやおもちゃでの遊び、絵本を読んだりする事が出来て親子での交流や、子供たちの交流、子育て中の親同士の交流も楽しめる。

令和2年に増築した新館では保護者が子供のそばで仕事をする事ができる子連れテレワークスを導入している。





視察先6 PFI住宅 マハロタウン マハロタウン2

PFI法を活用して子育て住宅を主軸とした中堅所得者向け定住促進住宅を利便性の高い地区に供給するもの。この手法により快適な住まい環境を創出して境町の定住人口の増加や地域の活性化を図る。

間取り 木造2階建て3LDK 延床面積約100㎡ 30坪

主な入居対象者 子育て新婚世帯など町外からの転入を優先。

所得要件 月額158,000円以上487,000円以下の方

家賃 58,000円 25年住むと土地建物を取得できる。



マハロタウン2の外観

視察初感 茨城県境町は人口23,800人で二戸市に近い人口で
鉄道はなく、交通利便は決して良いとは言えないが、東京駅から直通
のバスがあり1時間30分の乗車時間。1日に8本が運航している。
バスは途中、王子駅でも停車する。

この町のキャッチフレーズで「境町は子育て日本一を目指します」
「境町に英語移住をしませんか」が響き今回の視察場所を選択した。

視察のコースは境町が提案したモデルコースで誘致したスポーツ施
設を紹介した理由は、この町の戦略である「境町モデル」の紹介が含
まれており、境町モデルとは従来の「建設も運営も自治体が負担する」
方式ではなく、国や県の補助金を最大限に活用し建設費を抑え、運営
は民間事業者に委ねる事で町の負担を極力発生させない仕組みを取
るもので「境町モデル」として知られている。

設置した施設を単なる公共サービスの場所としての提供だけでは
なく物品販売、飲食、体験機能などと組み合わせた稼ぐ施設として
設計し、家賃収入により資金を回収する手法は、全国からも多くの自
治体が視察に訪れる町としても有名である。

英語移住をしませんかというキャッチフレーズに現れた英語移住は、「境町の子どものだれもが英語を話せる町にしたい」という思いが込められ、教育環境を重視する子育て世代にも、関心を引き付けており人口対策にも一定に効果を上げている。境町では全ての学校にALTを採用しており町内全ての小中学校を英検会場に登録している。

英検受験料も町が負担し全児童、生徒に平等な受験機会を提供している。その結果、令和5年度で、小学校6年生の英検5級保有率は75.5% 中学校3年生の英検3級保有率は52.2%と全国平均の1.8倍の保有率になっている。

更に25年居住すると住宅を取得できるシステムは、他市町村からの移住者や若い世代を、境町に移住する事にも成果を上げており、英語教育、住宅、産業、スポーツ交流人口拡大にも繋がっている。

視察の中で、町が最初に取り組んだ事業を質問したところ、答えは財政再建で、こうした事業を進めるにも大切なものは財源が必要。

特にふるさと納税に力を入れており2024年の納税額は約60億円。主な返礼品は米、芋、肉が人気で、米は品質が良い事で知られ境町は農業が盛んである。こうした財源を有効活用しながら、人口が減

少しない町づくりを進める姿勢は大きな感銘を受けた。

委員の感想 特にホームページの作り方がうまい。子育て支援のホームページを見ても、そのままPDFとして印刷できるような工夫があり、ホームページに並ぶキャッチフレーズが心をつかむ。

こうしたホームページからも伺える町の積極性が、ふるさと納税にもつながっているのではないかと感じた。

英語教育、スポーツ施設の誘致による交流人口の拡大、そして25年住むと土地建物を取得できる制度は魅力的。家賃も5万円台で子育て世代にとっては非常に魅力的な制度である。

財源獲得のための手法やふるさと納税額がすごい。主なものは米に芋、肉と聞くがふるさと納税が多い町としても知られているのはすごい事である。スポーツ施設にしても世界のトップクラスのレベルを導入できる町長の決断力が素晴らしいと思った。

境町バスターミナルに到着すると最初に飛び込んできたのは自動運転バス。ターミナルそばにはハワイ風の建物もあり、ハワイ州ホノルルの姉妹都市としても非常に精力的な運営を行っていると感じた。

茨城県境町 独自の子育てサポート!

国の平均を上回る 出生率1.48

未来に投資 で手厚いサービス 住んでいるすべての人に 所得制限を撤廃

●兄弟の年齢も別個なし! 上の子が何歳でも第1子・第2子に数えられます。
●定年手当も別個なし! 特別給付の所得制限を超えた世帯でも、1人につき5,000円もらえます。
●高校生にも奨学金! 1人につき5,000円もらえます。

境町は学べる: 英語教育に特化

小学生・中学生

先進英語教育! 小中学校 無料 給食費 みんな 無料

英検受験料 無料 ホノルル・ホームステイ 無料 沖縄で民泊体験 無料

●全小中学校に複数のフィリピン人講師が常駐 休み時間や給食中も英語を体感!
●ALT 24名 (外国人指導員)、平均3.4人/校 ※全国平均0.8人/校
●1日英語漬け! イングリッシュサマースクール&キャンプ
●小学生プログラミング体験キャンプ
●小学生アルゼンチンホームステイ

●全小中学校 100%エアコン完備 (教室や体育施設など)
●水泳の授業は屋内温水プール
●スクールバス 対象児童無料
●児童クラブ 定員倍増
●学習指導員が宿題や自主学習をサポート 夏休みに昼食を提供

境町は育てる: 安心の子育てサポート

医療 出産・赤ちゃん 保育

医療費 20歳まで 無料

●第3子以降の出生に最大50万円
●育児用品購入クーポン最大3万円
●出産祝い品をプレゼント!
●モバヘル授乳セット & エンジンママ子育て製品
●産前産後ヘルパー事業で 産前・育児の負担減

保育料 給食費 第2子以降 無料 みんな 無料

●公私連携型保育所新規開設 (今年7月)
●県立保育可能な保育所新規開設 (今年11月)
●町内保育施設も増え持ち帰り無し

境町は助ける: 移住・定住をサポート

奨励金・補助金

●初めて住む方: 町長特別奨励金最大50%もらえる ※転入2~5年間の最大4年間 ※特約: 町長特別奨励金5%引でOK!
●子育て: 新婚世帯: 住宅取得で50万円
●転入者: 住宅取得で固定資産税負担も減らえる ※最大3年減、転入後の固定資産税が実質負担なし
●民間賃貸住宅に住む子育て: 新婚世帯: 家賃補助 最大36万円 ※最大10,000円/世帯/3ヵ月
●新婚世帯: 住宅・引越費用の補助 最大60万円
●学生: 高速バス通学定期券を半額助成

子育ていいところ 境町

「子育て支援日本一」を目指しています!

公園がいっぱいで楽しいよ! 雨でも遊べるよ!

助成制度がたくさん! 子育てに助かるね!

高速バス 東京駅 王子駅 通称 1日8往復

●東京駅まで最速90分! 暑くてラクラク通勤・通学!
●駅前の高級・専門ホテル・木宿に宿泊できます!
●高速バス定期券が半額! (月額21,000円以内)

宝島社「田舎暮らしの志」 2023年度 住みたい田舎ランキング 子育て世代部門 関東の町で 第1位

宝島社「田舎暮らしの志」 2023年度 住みたい田舎ランキングより、首都圏エリアと近畿圏エリアを合わせた、関東の町として選ばれる。子育て世代部門で第1位。

詳しい条件は「境町奨励金」でチェック! ●学生: 高速バス通学定期券を半額助成

すべての子どもが 英語を話せる町へ。

先進英語教育 無料

LEVEL UP

小6 英検5級 保有率 73.8% (70%超が英検5級に合格)

中3 英検3級以上 保有率 44.7%

全国平均の1.6倍! 取得率%上昇中!

●すべての学校に 複数のALTが常駐
●英検が無料! しかも各学校で受験できる
●ホームステイや短期留学 無料でホノルルに行ける

3人子育て中の町長でも、境町は負担ゼロ!

	保育園	小学校	医療費
保育料	0	0	0
給食費	0	0	0
合計	0	0	0

近郊と比較してみると...
町長が専任に任じた場合の年間費用 (1人1年あたり) ※1歳児
茨城県T市: 約65万円
千葉県N市: 約43万円
千葉県K市: 約59万円

家賃58,000円で25年間住み続けると... 戸建&土地がもらえちゃう

動議先の住宅手当もOK!
戸建に住むとかかる諸費用なし!

子育て応援住宅!

家賃58,000円/月 築年数: 約30年 間取り: 3LDK 2台車可

充実の近隣施設紹介

●全完備公園 境町ニコニコパーク
●児童クラブ 年中以上の週1日でも遊べ! 公園内ドッグラン ボートハウスの遊具が大人気!
●小児科専門クリニック さかしまいキッズクリニック
●バス 待合室にも子どもが楽しめる エレベーターあり
●児童館 だれでも無料で使える
●児童センター 高速バスのそばに付いている! 近隣の中学校も徒歩で通じられる

●住宅ローン ●固定資産税 ●火災保険

すべて不要!

お問い合わせ 茨城県境町改修 地方創生課 TEL.0280-81-1309

視察先 7, 那須まちづくり広場

栃木県那須町の旧朝日小学校が閉校した後に、那須まちづくり株式会社が、2017年に孫子の代まで継続する「100年コミュニティ」を創生しよう廃校再生に着手し、人生100年時代に、だれもがいつまでも、生涯活躍でき、安心して生きることができる場所を目指して2018年にオープンした施設。これまでに下記の表彰を受賞。

2020年地域づくり表彰[小さな拠点部門]国土交通大臣賞、

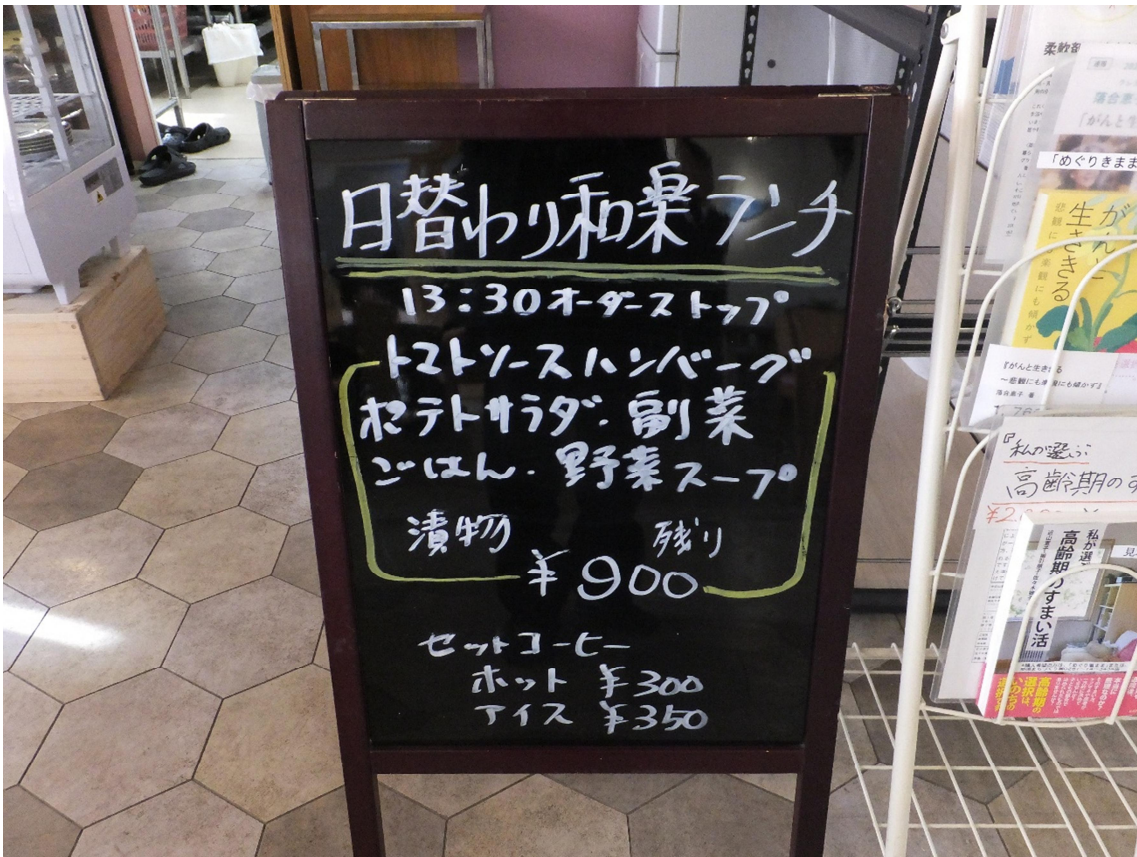
2022年ふるさとづくり大賞団体表彰（総務大臣表彰）。

那須まちづくり広場入口 図書ギャラリー コミュニティカフェ









視察所感 廃校の利活用、地域でも今後起こりえる状況を模索したところ、長期的な取り組みで運営されて地域にも親しまれている事例はないだろうか？そんな思いから今回、視察先に選んだのが那須まちづくり広場だった。那須まちづくり広場は高齢者を中心に、多世代向けの住まいから日々の暮らしを支えるケアまでが整っている。

そして廃校には交流ホール、カフェ、マルシェ、ゲストハウス、アートギャラリーから、パン工房にケーキ店など仕事、文化、食事、趣味やイベントが開催できる環境が整えられており、まさに一つの新たなコミュニティが形成されていた。このまちづくり広場を視察して感じた事は、単なる福祉施設や集合住宅地ではなく、小さなまち、コミュニティーとして一体的な設計されている事である。

廃校や校庭を利活用し、高齢者向け住宅を整備し（自立型、介護対応型、看取り対応）デイサービス、障害者支援施設、多世代が暮らすことのできるシェアハウスが配備されており、世代や障がいの有無に関係なく、自然な交流が生まれる環境が整えられている。カフェや図書ギャラリーを始めパン工房やアートギャラリーなど、趣味や生活、

そして文化など暮らしを豊かにする施設が配備されており、生きがいを感じる事が出来る工夫が施されている。

高齢者向け住宅の入居には、終身家賃前払いの制度が導入されており運営する側にとっても収益の確保が大事なことから入居条件も掲示して運営されている。入居されている方は東京近郊の方も多く、新たな受け入れ先として機能している部分が印象的だった。

まちづくり広場の住宅案内図 住居の一例





委員の感想

暮らしの安心と持続可能性を両立させる工夫が随所に見受けられた。廃校という地域の記憶を継承しながら、新たな価値を生み出している説得力を感じた。

自立と共生、コミュニティの拠点、地域包括ケアの拠点、多世代交流の拠点、芸術文化の拠点、統合医療モデルの実践を目指した施設であり、いわば一つの集落の形成、言い換えると希望者が集まった、コンパクトシティという印象を受けた。

閉校した普通の学校を拠点として様々なスタイルの住宅を提供している旧校庭への住宅建設に廃校を利用しているので土地の費用がかからない。介護スタッフによる昼夜の見守りに様々な介護を行っているのも、民間会社が運営しているので採算も十分に考えての運営が成されていると感じた。

福祉の住宅という概念を持っていたが、実は多様な趣味に対応できるお店も充実しており、カフェの利用やマルシェ、コーヒー豆の販売や手づくりパンの提供など、日々の暮らしを飽きさせないお店が充実している。サテライトオフィスもあり、廃校のスペースをフル活用しておりバリアフリーも充実していた。

視察を終えて 茨城県境町 今回の視察を踏まえ、今後は本市でも境町モデルの考え方を段階的に取り入れてゆくことが重要である。公共施設の新設の際には、維持管理まで含めた将来の負担までも考え民間の活力や収益性も検討してゆくことが大切と考える。移住・定住施策も特色ある教育やスポーツ、国際交流の考えも踏まえて魅力的な地域情報発信をしてゆくことが望ましい。町が最初に取り組んだ財政再建は、特に外からの収入獲得にも力を入れており、6万円台から始まったふるさと納税は現在、50億を超えて町の大きな原動力になっている。

視察を終えて 栃木県那須町 今回の視察では廃校や未利用施設は経費のかかる建物として見るのではなく、地域の課題解決の拠点として、どのように再利用できるか、再生できるかという視点が重要と考える。高齢者福祉、子育て支援、障がい者支援は分野ごとに分けて考えるのではなく、多世代・多機能が共存する拠点として考えてゆき、相互支援や交流が生まれてゆく環境づくりをしてゆく必要があると考える。地域には様々な民間団体、NPO法人もあり、地域住民との連携も推し進めてゆけば、地域の課題解決につながる可能性も広がると感じられる。